

“レッドリボン（赤いリボン）”は
HIV／エイズに関する運動の
世界的なシンボル

12月1日は 「世界エイズデー」です

世界エイズデー（World AIDS Day）は、1988年にWHO（世界保健機関）が定めました。世界レベルでのエイズのまん延防止と感染者・患者に対する差別・偏見の解消を目的としています。

日本では、2024年の1年間に664人がHIVに感染し、336人がエイズを発症したと報告されています。また、これまでの報告数は、HIV感染者とエイズ患者を合わせて、世界では約4,080万人、日本では36,000人を超えています。

エイズのあれこれ

よくある質問について
お答えします！
正しい知識を持ちましょう。

HIV・エイズって何？

エイズとは、HIV（ヒト免疫不全ウイルス）というウイルスに感染して起こる病気です。つまり、HIVはウイルスのことで、エイズは病気のことです。

HIVに感染したあと、数年から十数年経過していくうちに、体内でHIVウイルスが増え、病気とたたかう力（免疫力）が弱くなり、健康なときにはかからないような病気や感染症にかかりやすい状態になります。

HIVには、どのようにして感染するの？

次の①～③の感染経路があります。

① 性行為による感染・・・感染した人の8割以上は、性行為による感染です

HIVに感染した人の精液・膣分泌物・血液を感染源として、口・性器・肛門等の粘膜や傷口をとおしてパートナーの身体に入り感染します。そのため、性行為における正しいコンドームの使用は、有効な予防法です。

② 血液を介しての感染

覚せい剤などの依存性薬物を使用する際に、注射器具を共用することなどで血液を介して感染します。なお、血液製剤は、現在では加熱処理が行われているので、感染する心配はありません。

③ 母から赤ちゃんへの母子感染

母親がHIVに感染している場合、妊娠中や出産時または母乳を与えることで赤ちゃんに感染することがあります。しかし、母親がHIVの治療薬を飲んだり、母乳を与えない等で、赤ちゃんへの感染を1%以下に抑えることができます。



治療法はあるの？

現在、からだの中にいる HIV を完全に取り除く治療法はありません。

しかし、感染の早期把握、治療の早期開始・継続により、エイズの発症を防ぐことができ、HIV に感染していない人と同等の生活を送ることが期待できるようになりました。

つまり、**早期発見・早期治療**が大切になります！



HIV に感染しているかは どうやったらわかるの？

血液検査でわかります！

検査は、結果を正確に出すために、心配な出来事から3ヶ月以上経ってから検査を受けることをお勧めしています。

HIV は検査を受けなければ、感染しているかどうか分かりません。
あなた自身と大切な方のためにも、不安のある方はまず検査を受けましょう！

相談窓口・検査窓口について

令和7年11月現在

施設名・所在地・ 電話番号	電話相談	エイズ検査	
		即日検査	通常検査
能登中部保健福祉センター 七尾市本府中町ソ27-9 (0767-53-2482)	月曜～金曜 8:30～17:45	第1月曜日 9:00～11:30	第2月曜日 9:00～19:00
			第3・4・5月曜日 9:00～11:30
羽咋地域センター 羽咋市石野町へ31 (0767-22-1170)	月曜～金曜 8:30～17:15	—	第2月曜日 9:30～11:30

★原則、検査は匿名・無料で受けられます。

★検査希望の場合は、前週金曜日までに予約が必要です。

★検査結果については、即日検査は当日中に、通常検査は検査の10日後にお伝えします。

その他の相談窓口や検査窓口などについては、下記へアクセスください！

API-Net エイズ予防情報ネット

<http://api-net.jfap.or.jp/>

